



三つの巨石が層のように組み合わさった「天照大神」がこもったとされる場所

## 5 いわふね 磐船神社

峰に天下つたとされるニギハヤヒノミコトを祀っている神社。ご神体である船型の巨石「天磐船」が、境内を流れる天野川をまたぐように絶妙なバランスで立っている。  
また、生駒山地から流れ出た天野川が山を削り、露出した岩の上に別の岩が重なり天井となってきた「岩窟」は、古くから修験道の行場として使われていた。現在は一般でも拝観が可能。

住 交野市私市9-19-1  
☎ 072-891-2125  
〒 境内自由 Pあり

岩窟拝観  
500円  
残金  
800円

歩行距離  
約7km



白龍の滝

## 岩窟拝観について

時 10:00~15:00  
休 第3・4水曜、木曜(祝日は除く)  
¥ 500円(1人での拝観は不可)

★注意事項  
雨天時・雨後は岩窟拝観不可  
年齢制限あり(10歳~75歳)  
カメラやスマホでの撮影不可  
その他の規定はHP  
または電話で確認を

\*今回は特別な許可を得て撮影しています  
本来は修行場のためルールを守って拝観を

長距離移動だったので  
帰りはバスで♪

北田原  
バス停

運賃  
430円  
残金  
370円

近鉄生駒駅

運賃  
300円  
残金  
70円

近鉄奈良駅

残金は  
募金へ

GOAL

## 6 天野川トンネル

磐船神社の東側、天野川の氾濫を防ぐために設けられた川専用のトンネル。ゴーという滝の音が響くその横には、国道のトンネルも通っており、車と水の道が並走する不思議な光景。

## 旅を終えて

生駒は、竜田川・天野川・富雄川・山田川と4つの河川が流れていて、今回歩いた天野川は地図を見て初めて存在を知った川。磐船神社から北の枚方方面にかけてはもったくたくさん七つゆかりの地が続いている。今度は大阪側から歩いてみたいな♪



宮司の 西角明彦さん ご神体の天磐船(高さ約12m・幅12m)

## 2022YEN Map

### 天野川トンネル

おじいさんの古時計  
6  
5  
磐船神社

白い矢印に沿って進むよ!

### 羽衣橋

20分

ドリンク  
300円  
残金  
1,300円

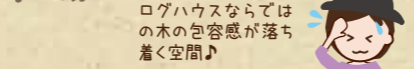
北田原バス停

生駒駅北口行き

八音

わかりにくいけど工事現場のような道を登っていくよ

10分  
ここでちょっと休憩、ログハウスならではの木の包み感が落ち着く空間♪



### 4 Break Craft 八音

20分

はっぴん

ログハウス造りを専門に行う会社「Wood Pecker」を夫婦で約30年、残った資材を使用し、ゆっくりのんびり、完成までに7年を要した“みんなの遊び場”。定期的にイベントを行ったり、地元仲間の手作り商品などを販売しており、地域の憩いの場となっている。

住 生駒市北田原町1297  
☎ 0743-79-5544  
営 11:00~17:00  
\*食事の場合は要予約  
休 不定休 Pあり



長随彦本拠の地

地元の生駒の旬野菜などが並ぶ

けやき通り

みのりの里

ハナミズキ通り

ならやま大通り

START

白庭台

近鉄白庭台駅

生駒市総合公園

テニスコート

生駒駅

二ギハヤヒノミコト

饒速日命墳墓

ひくばやま

松窪山に建つ鉄塔の麓にある石積みの小さな塚と碑。ニギハヤヒノミコトが持っていた天羽々矢(神器の矢)を葬っているとされている。

今回道に迷い到達できず...テニスコート側から回り込んで山に入ると行けるそう。夏場はヘビが出やすいのでご注意ください

# 河内・大和の国境 白庭台から行く 七夕伝説「天野川」ウォーク

七夕より  
ひと足早く

今月の旅人  
咲

## 2022円の旅

Travel of 2022.6

2,022円の旅ルール  
その1:所持金は2,022円(交通費込み)  
その2:出発は近鉄・JR奈良駅、近鉄大和八木駅のいずれか  
その3:車での移動は×(ただし公共交通機関は○)



年に一度、織姫と牽牛(彦星)が天の川で会うことのできる「七夕」。奈良と大阪の県境にも「天野川」と呼ばれる川が流れ、その流域には七夕ゆかりのスポットが点在している。今回は、日本における七夕伝説発祥の地、大阪府交野市に向けて白庭台からLet'sウォーク!

天野川トンネルの滝

### コラム 白庭台

1980年代後半から1990年代に開発された新興住宅地「白庭台」。「先代旧事本紀」の記述で、物部氏の始祖である饒速日命(ニギハヤヒノミコト)が高天原から「天の磐船(天の川にあるという想像上の船)」に乗って、「峰」に降臨したのち、移り住んだと伝わる「大倭国鳥見白庭山」から名付けられた。

ニギハヤヒは数多くの呼び名や逸話が存在するとされており、ひそかに人気の高い謎多き神。  
長し!!!  
ちなみに正式名は「天照国照彦天火明櫛玉饒速日尊」

### コラム 天野川

生駒山麓を水源とし、四條畷市を経て交野市、枚方市を流れ淀川に合流する約15kmの一級河川。川砂が白く光って見えることから「天の川」になぞらえられ、古くから多くの和歌が詠まれた狩り場(桜狩り)だったそう。また、「甘くおいしい米が実る野」であったため、甘野川とも呼ばれていたと伝えられている。

### 近鉄奈良駅

運賃  
420円  
残金  
1,602円

### 近鉄白庭台駅

取材日の  
4月下旬は  
満開でした♪



日本の道100選に選ばれている  
ハナミズキ通り

けやき通り

### 1 ながすねひこ 長随彦本拠の地

当時、大和の国 鳥見(登美)を治めていた豪族で、神武天皇と戦ったとされる長随彦の本拠地。その妹・鳥見屋媛(登美夜毘売)を妻に迎えたのが饒速日命とされている。

住 生駒市上町2745-1



河内(大阪)と、大和(奈良)の国境。  
ここから天野川沿いを歩くよ!



両国橋

10分

### 3 稲葉谷の磨崖笠行者像

住宅の合間にひっそりとある小さなお堂。その裏の崖には石造り笠のついた役行者磨崖仏が掘られている。宅地開発の際に、この一角だけ残ったのかな...

住 生駒市西白庭台1-3-9

お賽銭  
2円  
残金  
1,600円

1分



yomi-tte編集部員が旅人になってテーマに沿った小旅行を提案します。もっと気軽に手軽に、考えた「ぶらりどこかへ行きたくなる」あの気持ちを2022円以内に収めました。封筒の中には旅のルールと2022円だけ。あなたはどっく使う?